

2023 年度決算説明会 主な質疑応答

1. 民間向け航空エンジン事業の見通しについて

- ・ 航空需要回復を受けたスベアパーツ販売拡大が増益要因となる一方で、PW1100G（新製エンジン）出荷が前年度比で増加すること、GE9X の出荷が始まること減益要因となる。
- ・ その他、防衛関連、宇宙事業の売り上げ拡大による増益効果が見込まれる、
- ・ これらを合わせ、売上収益の増減による営業利益は、130 億円の増益となる見通しである。

2. PW1100G 追加検査プログラムの現状と見通しについて

- ・ エンジンプログラム全体での損失額は、2023 年度第 2 四半期に公表した額からの変動はなく、IHI の負担額も、為替影響以外の変動はない。
- ・ キャッシュアウトについては、2024 年度以降の発生を見込んでおり、2024 年度は約 500 億円、2025 年度も約 500 億円のキャッシュアウトが生じる見通しである。

3. キャッシュフローの改善施策について

- ・ 民間向けエンジン事業において、サプライチェーンの不安定な状況もあり、売上債権や棚卸資産が積み上がってきている。
- ・ その中で、入金促進、支払い時期の適正化、在庫の適正水準等、改善のための地道な取り組みを積み重ねるとともに、キャッシュの構造を変えていくための取り組みを加速していく。
- ・ また、固定資産売却や、「グループ経営方針 2023」における総投資 5,000 億円のうち 500 億円程度について支出時期の見直し等の施策を検討している。

4. 資源・エネルギー・環境の今後について

- ・ 大型案件の大幅な採算下振れは、今後想定していない。
- ・ 売上のウエイトは、石炭焚きボイラが減少し、ライフサイクルビジネス（アフターサービス等）に移行していく。
- ・ その中で、メンテナンスの高度化、運転支援、燃料転換等、質の高いライフサイクルビジネスに取り組むとともに、アンモニア関連の育成事業を伸ばすことで利益率を上げていきたい。

5. 船用・陸用エンジンの試運転記録に関する不適切行為について

- ・ ステークホルダーの皆様からの信頼を裏切ることとなり、重く受け止めている。
- ・ 外部有識者を中心とする特別調査委員会を 5 月 1 日に発足させ、関係者へのヒアリング等、既に調査が始まっている。調査結果や再発防止策について、早期に報告したいと考えている。
- ・ 業績への影響は現在精査中であり、現時点で申し上げられることは無いが、影響が見込まれる場合は速やかに公表する。

以上